

【職場討議資料より③】

今年こそ大幅賃上げ! ストライキで決起し、ベアを勝ち取ろう!

物価高から暮らしを守り、医療・看護・介護に人材を確保する、

暮らしと労働実態に見合った大幅賃上げを獲得しよう!!

■ 診療報酬本体+0.88%、介護報酬+1.59%では全く不十分

昨年末、政府は、2024年度予算編成のなかで、この診療報酬、介護報酬の改定率を決めました。改定を通じ、医療、介護、障害福祉いずれも、24年度+2.5%、25年度+2.0%のベースアップにつながるよう、配分方法を工夫するとしています。介護、福祉、看護補助が対象の補正予算による「平均6,000円」の処遇改善は、2月から5月まで、6月以降は報酬に切り替え。経営側に確実な申請を求めましょう。報酬改定のなかにケア労働者の賃上げ分が盛り込まれた事は、この間のたかひの成果です。しかし、昨年11月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+2.8、食料は同+7.8で、2020年からは15.6ポイントも増加しています。政府が想定するベアでは実質賃金はマイナス、生活悪化は必至で、他産業からの周回遅れを取りもどすには遠く及ばず、さらなる格差の拡大が懸念されます。ケア労働者の賃上げに向け、再改定で大幅引き上げを求める取り組みを、更にもう一段、強める必要があります。

再改定で
大幅引き
上げを



* 24年度政府予算案、軍事費は積み増し、社会保障費は圧縮

24年度報酬改定にあてる国の予算は、医療は薬価▲1%と合わせて実質▲400億円です。介護は+432億円、障害福祉は+162億円で、社会保障全体は自然増を1400億円も圧縮。一方、軍事費は、5年間で17兆円増やし43兆円とする計画の2年目で、前年比1兆1277億円もの積み増し。憲法違反の敵基地攻撃能力整備へ、長射程ミサイルに7340億円もつぎ込みます。莫大な軍事費を社会保障にまわせば、ケア労働者の大幅賃上げは可能です。



戦争の準備に税金をつぎ込むのではなく、いのちを守る医療・介護に

5年で43兆円

【政府の方針】

こんなお金まで防衛費に!?

+17兆円

約26兆円

(現行の防衛予算
約5兆円×5年分)

防衛力強化資金(4.6兆円)

歳出削減(3兆円)

増税(3兆円規模?)

建設国債など

- 国立病院機構の積立金(422億円)
- 地域医療機能推進機構の積立金(324億円)
- 中小企業向け融資の基金(2350億円)など
- 社会保障関係費の削減?

診療報酬改定について

12月20日の予算大臣折衝を踏まえ、令和6年度の診療報酬改定は、以下のとおりとなった。

1. 診療報酬 +0.88% (国費800億円程度(令和6年度予算額。以下同じ))

※1	うち、※2~4を除く改定分	+0.46%
各科改定率	医科	+0.52%
	歯科	+0.57%
	調剤	+0.16%

40歳未満の勤務医師・勤務歯科医師・薬局の勤務薬剤師、事務職員、歯科技工所等で従事する者の賃上げに資する措置分(+0.28%程度)を含む。

※2 うち、看護職員、病院薬剤師その他の医療関係職種(上記※1を除く)について、令和6年度にベア+2.5%、令和7年度にベア+2.0%を実施していくための特例的な対応 +0.61%

※3 うち、入院時の食費基準額の引き上げ(1食当たり30円)の対応(うち、患者負担については、原則、1食当たり30円、低所得者については、所得区分等に応じて10~20円) +0.06%

※4 うち、生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料等の再編等の効率化・適正化 ▲0.25%

(注) 令和6年6月施行